

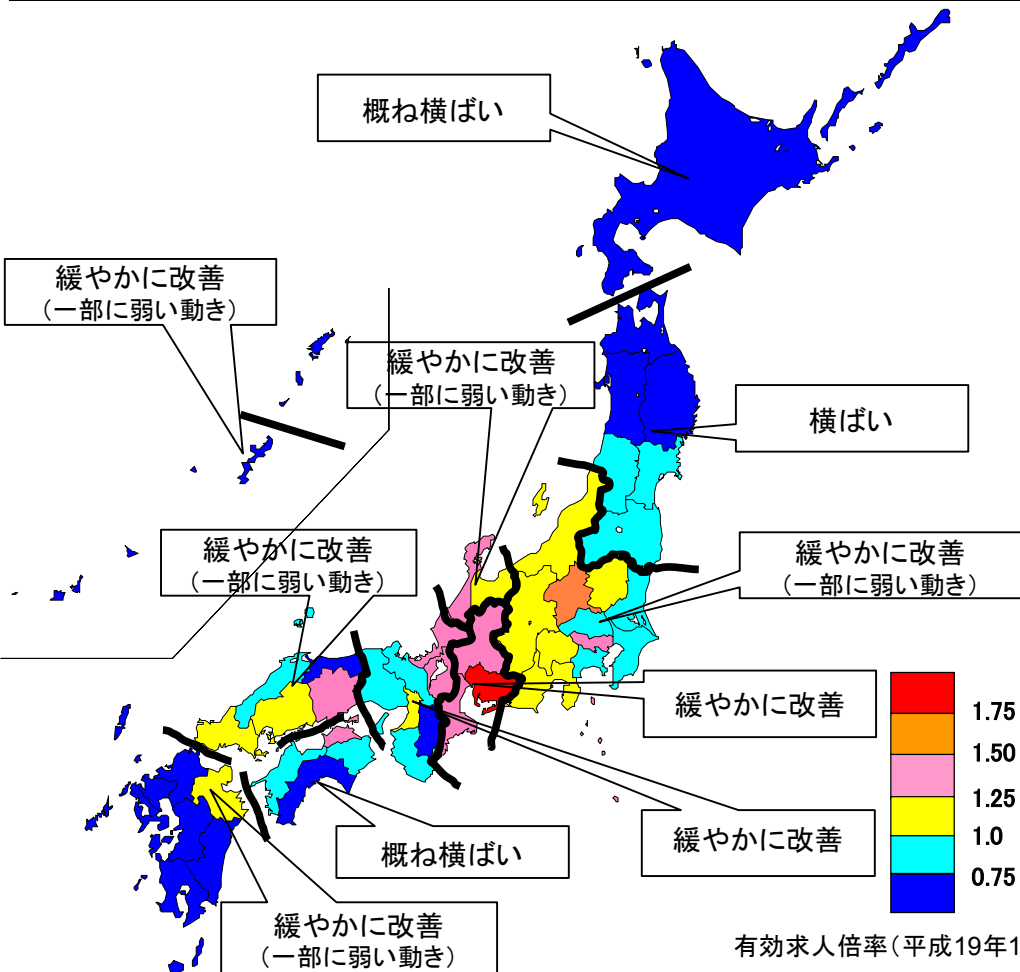
# 第23回地域経済産業調査結果の概要(全体総括)

地域の景況は、緩やかな改善傾向にあるものの、一部に弱い動きが見られる。(4地域で景況判断を下方修正)

～ 原油価格高騰等の影響から、中小企業を中心に景況感等が悪化 ～

	19年3月 (第19回)	19年6月 (第20回)	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)
全国	↓	→	→	↓	↓
	ばらつきがみられるものの引き続き改善傾向にある。			緩やかな改善傾向にあるものの、ばらつきがみられる。	緩やかな改善傾向にあるものの、一部に弱い動きがみられる。

	19年3月 (第19回)	19年6月 (第20回)	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	コメント	有効求人倍率※ 全国平均 0.98
北海道	→ 緩やかに改善	↘ 概ね横ばいで推移	→	→	→ 概ね横ばいで推移	原油・原材料価格の高騰、建築基準法改正の影響から業況は全体で見るとやや弱い動き。	0.58
東北	→ 緩やかに改善	→	→	→ (先行きに不透明感)	↘ 横ばい	原油・原材料高により収益圧迫し業況が悪化しており、雇用も低下、消費マインド冷え込みで個人消費弱含み。	0.70
関東	→ 改善している	↘ 緩やかに改善	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	輸出関連の生産は好調だが、原油・原材料価格の高騰により中小企業の業況は悪化が続く。	1.13
中部(東海)	→ 改善している	↘ 緩やかに改善	→	→	→ 緩やかに改善	自動車などの輸出型製造業が牽引し、緩やかに改善。一方、中小企業は、原材料価格高騰などにより収益圧迫。	1.62
中部(北陸)	→ 改善している	↘ 緩やかに改善	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	一部業種に厳しさが残るも電子部品・デバイス等好調で緩やかに改善。非製造業は諸物価上昇から消費マインド低下で低調。	1.26
近畿	→ 改善している	→	→	↘ 緩やかに改善	→ 緩やかに改善	設備投資と輸出に支えられ緩やかに改善。しかし、原油・原材料高騰より中小企業の収益が悪化。また、建設業でも厳しい状況。	1.00
中国	→ 緩やかに改善	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	輸出関連の堅調な業種はあるものの、原油・原材料高、住宅着工減で、業況は総じて悪化。	1.09
四国	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→	→	→	↘ 概ね横ばい	原油・原材料価格の高騰、建築基準法改正の影響により業況が悪化。	0.88
九州	→ 緩やかに改善	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	原油・原材料価格の高騰、改正建築基準法の影響等により、業況や消費マインドの一部に弱い動き。	0.69
沖縄	↘ 緩やかに改善	→	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	観光需要は好調であるが、原油・原材料価格の上昇、改正建築基準法の影響により、建設等一部に弱い動き。	0.42



有効求人倍率(平成19年12月)

※月間有効求人倍率 12月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」(平成20年1月29日公表)により作成